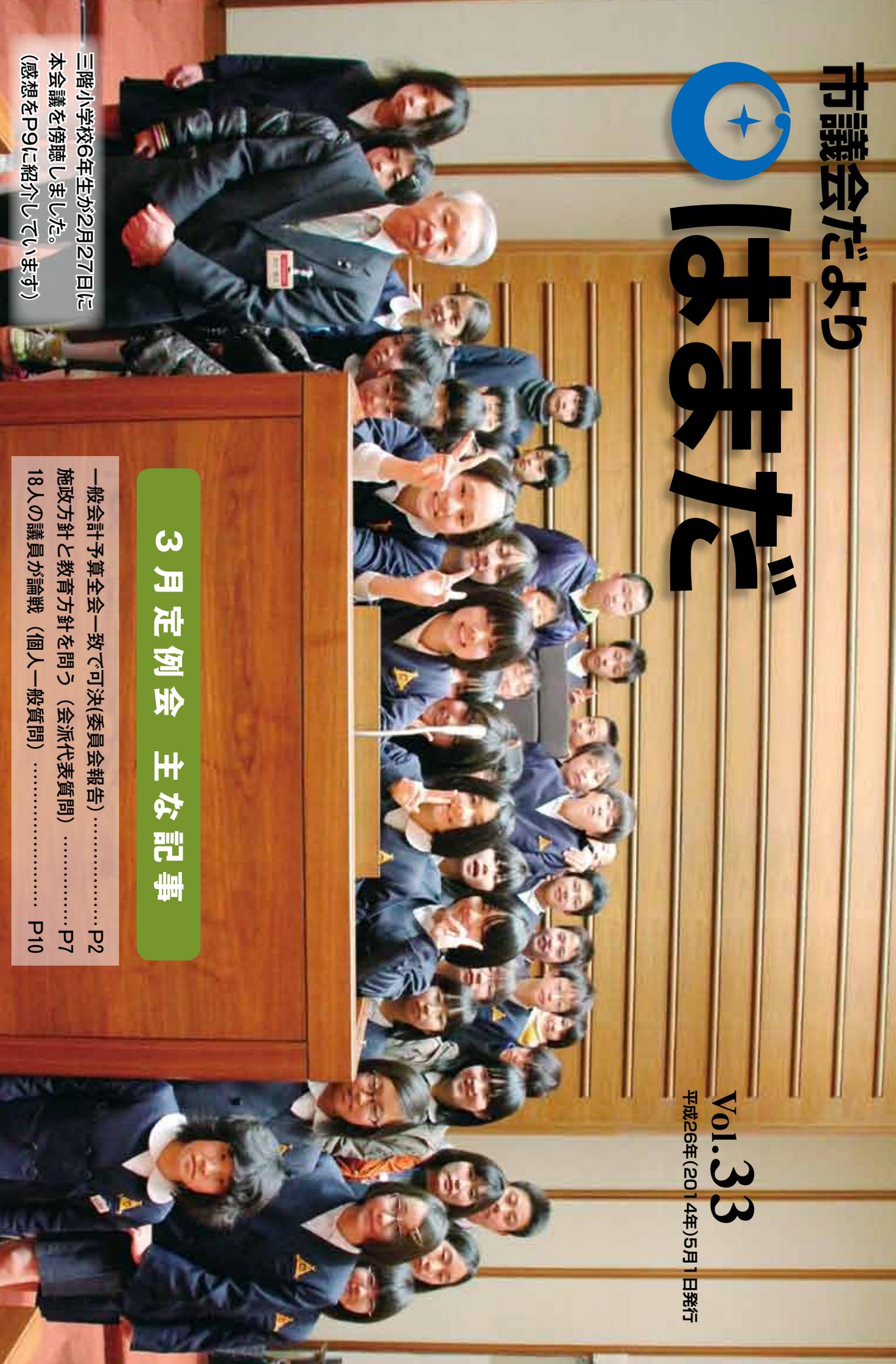


市議会だより

はまだ

Vol.33

平成26年(2014年)5月1日発行



三階小学校6年生が2月27日に
本会議を傍聴しました。
(感想をP9に紹介しています)

3月定例会 主な記事

- 一般会計予算全会一致で可決(委員会報告)…………… P2
- 施政方針と教育方針を問う(会派代表質問)…………… P7
- 18人の議員が論戦(個人一般質問)…………… P10

発行・浜田市議会

編集：議会広報広聴委員会

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地 TEL (0855) 25-9800 FAX (0855) 22-6765

3月定例会のあらまし

平成26年3月浜田市議会定例会が2月21日に招集され、3月14日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会で提出された議案は、市長から提出された議案が49件、議会から提出した議案が2件、請願が2件でした。なお、審査の様子は2ページから4ページに、採決の結果は6ページに掲載しています。

また、会派代表質問には、各会派の代表者4名が、個人一般質問には18人が立ちました。論戦の様子は、7ページより掲載しています。

なお、三階小学校6年生が今定例会を傍聴に来ましたので、その様子を9ページに掲載しています。

公約実現のための 「機構改革」に着手！

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された議案10件などの審査を次のとおり行いました。このうち、「浜田市行政組織条例の一部を改正する条例」は、市長公約実現のため26年度の機構改革により、部及び室の名称等の変更をされるが、所管する業務内容に変更が生じるのかという質疑があり、一部所掌事務も変更するとの答弁がありました。



携帯電話不感地域解消へ

感地域の現状と今後の整備のあり方についての質疑があり、8地区49世帯92人で、携帯電話は災害時や緊急時に重要な通信

手段であり、不感地域の解消を図るために事業者が参画しやすいよう減額免除を行い、随時整備していくとの答弁がありました。

また「浜田市防災行政無線施設条例の一部を改正する条例」は旭町重富に固定系屋外無線施設を設置するが、今回の案件以外の設置の検討について質疑があり、今の時点の設置予定はないとの答弁がありました。今後、デジタル波の変更等、電波法の改正動向を踏まえながら総合的に研究検討していくとの答弁がありました。採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。



不感地域の解消をはかる通信鉄塔

どうあるべきか 介護保険制度

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会に付託された議案5件などの審査を次のとおり行いました。

「浜田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例」は、島根県保育士修学資金貸付事業に浜田市独自の制度を上乗せするもので、貸付金の募集人員は15名を見込んでいます。

「浜田市福祉医療費助成条例の一部を改正する

条例」は、県制度が拡充されることにより、対象者が増え、自己負担限度額が引き下げられ、県外医療機関での立替え払いも縮減される。

「浜田市休日応急診療所条例の一部を改正する条例」は、休憩時間を明確にするため診療時間の改正を行うもので、現状と大きな変わりはない。

「浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、高額所得者の応分の負担、中間所得層までの世帯の負担軽減で公平な負担につながり、2割軽減と5割軽減の拡大により、新たに約1,500人が軽減される。保険料軽減分は島根県4分の3、浜田市4分の1負担で一般会計から国保会計に繰り入れる。

以上のような質疑を経て、議案5件は、可決すべきものと決しました。

請願「高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書の提出について」では、介護保

険の財源が枯渇し財政破たんが危惧されており、負担できる人は自己負担を2割引き上げも止むを得ない、要支援サービスは地域ボランティアなどの支援活動が必要である、などの反対意見がありました。

一方、要支援を介護保険から外す、介護1・介護2を特別養護老人ホーム入所対象から外す、これは介護保険の契約違反、国民に対する契約不履行、抜本的な間違いで、国は今後どうするかを国民に明らかにすべきである、との賛成意見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。



介護保険の課題「認知症」講演会（平成26年3月15日）

起死回生が望まれる 旭温泉あさひ荘！

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案5件などの審査を次のとおり行いました。「浜田市工場立地法準則条例」について、委員からは、この条例を制定することによってその企業の立地が進むのかまた、雇用が拡大するのかが見られるのではないかと、の質疑に対し、執行部からは、12月定例会において市長が企業立地というところで、この条例を制定するとしていることと、会社を大きくすると、新たにこちらにの

に立地されれば、雇用の増は大きく期待できると思っているとの答弁がありました。「指定管理者の指定」について、旭温泉あさひ荘のリニューアルオープンには、災害の影響で8月にずれ込み、指定管理期間が3年から2年8ヶ月となり、併せて指定管理者を旭温泉旅館組合に指名したいとの説明をうけました。委員からは、開館日や、地元と結びつきが強い指定管理者であれば指定期間を考

えるべきではないか、また、指定管理料の積算根拠の質疑がありました。執行部から、開館は8月3日(日)を想定している。初めての施設、熱源が初めてのチップボイラー、初めての指定管理であることを加味して当面2年8ヶ月とした。指定管理料は年間赤字分700万円のうち、燃料費、修理費、人件費で350万円を縮減し、どうしても克服できない350万円を、指定管理料2年8ヶ月分950万と消費税アップ分10万円で960万円と

の答弁がありました。次に「土地改良事業計画」について、委員からは、未被災地区も入れて排水路を配置することで、昨年の8月の災害は防げるのかという質疑がありました。執行部からは、どの規模まで必ず妨げるかということは、明確には答えにくいですが、より被災を受けにくい農地になるというところは間違いはないと思っているとの答弁がありました。



旭温泉「あさひ荘」完成予定図

その他、「浜田市手数料条例の一部を改正する条例」「市道路線の認定(美川南76号線)」など、付託を受けた議案5件について、採決の結果、全会一致で、可決すべきものと決しました。

質疑集中！ 「浜田元気枠」

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会に審査を付託されました。予算議案23件について3月7日から12日までの4日間、平成26年度浜田市一般会計予算を中心に質疑、審査を行いました。

議案22号平成25年度浜田市一般会計補正予算(第7号)については述べ16件の質疑がありました。次に議案23号から31号まで9予算について審査し8件について質疑がありました。次に議案32号平成26年度浜田市一般会計予算では、常任委員会ごとに通告のあった事



浜田室内プール

業の整理番号順に審査を行いました。特に質疑が集中した事業で、総務文教委員会関係では、「浜田室内プール取得事業」について、現在の利用状況、プール取得後の修繕費や維持管理費の見込み、経営体制についての質疑が集中しました。執行部から、修繕費は4千8百万円程度見込むが、調査から追加も想定される。年間維持管理費は3千7百万円程度で、指定管理の予定であるとの答弁がありました。委員からは、取得のメリット・デメリットを精査して長期間効率的に活用できる施設にすべきであるという指摘がありました。

また、福祉環境委員会関係では、「国民健康保険特別会計繰出金」について、来年度の保険料の値上げと、一般会計からの資金繰り入れ抑止方策について質疑がありました。執行部からは、来年度は18%前後の値上がりを見込んでいます。一般会計からの法定外の繰入れを行わなかった理由は、被保険者以外の市民負担を強いることになり、国からの交付金カット、浜田市の保険料は県内8市のなかで安いこと、国保運営の広域化が予定されていること等、様々な状況を総合的に勘案し、医療費にみあった保険料を負担してもらうべきと判断したためとの答弁がありました。また、産業建設委員会関係では、「広島開拓プロジェクトチーム運営事業」について、事業内容や広島に置く事務所、広島PRセンターとの連携について質疑がありました。執行部からは、場所は県の広島事務所も入っているビルを予定しており、PRセ

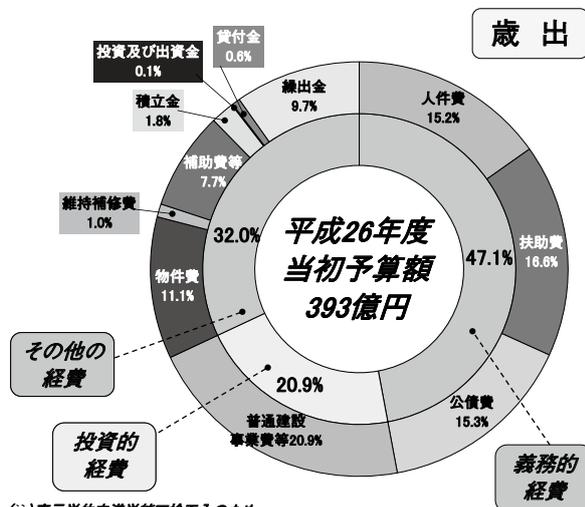


予算決算委員会の様子

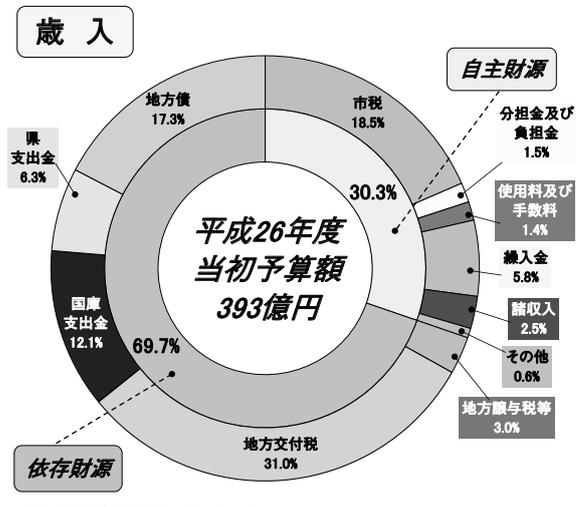
ンターの人脈、情報収集や誘客のノウハウを共有して、販路の開拓等に詳しい専門家を嘱託職員として雇用するなどの対応島戦略に取組んでいきたいとの答弁がありました。次に議案第33号から議案第42号までの10予算について審査を行い、1名の委員から1件の質疑がありました。また、議案43号から議案44号の2予算について、審査を行い4件の質疑がありました。以上、4日間の審査で16名の委員から195件の質疑がありました。

提出議案全てにおいて採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

平成26年年度一般会計の概要



(注)表示単位未満単価四捨五入のため、集計は必ずしも一致しない場合があります



(注)表示単位未満単価四捨五入のため、集計は必ずしも一致しない場合があります

平成26年3月議会で可決された主な事業

施設の保育士不足の解消を目指す！“保育士修学資金貸付事業”

- －卒業（資格取得）後、市内の保育所勤務
従事した場合、返還を免除する
- 対象 象：15人程度 ○貸付期間：2年間
- 限度額：月額2万円又は3万円
- 貸付利子：無利子
- 返還免除：3年間市内保育所等従事全額免除
- 予算額 事業費 480万円（一般財源）



次世代の保育士を募集！

成績優秀な学生に対し“坂根正弘奨学金給付事業”

- －浜田市の若く優秀な人材の育成を支援－
(株)小松製作所 特別顧問 坂根正弘氏
「ふるさと寄付金」原資
- 毎年2人×7万円×12ヵ月＝168万円
奨学生を7期まで支援
- その他（ふるさと寄付金）177万円



山陽方面にアプローチ！“「広島開拓特別プロジェクト」 チーム運営事業！”

- －広島をターゲット：製品の販路拡大
人口交流増加、企業誘致を目指す！－
- 事務所の開設と企業専門嘱託職員配置及び運営費
- 予算額 3059万6千円（一般財源）



“起業家支援 プロジェクト事業” 若者、女性、シニア層の起業・創業支援

- －新たな働き場の創出・地域資源の
活用等 活性化に寄与：3年間予算化－
- 「起業家セミナー」の開催 2コース
- 予算額 357万5千円（一般財源）



請願・陳情の審査経過および結果 ー平成26年3月定例会審査分ー

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した委員会	本会議
請願	特定秘密保護法の廃止を求める意見書の提出について	江津市後地町2456-2 憲法を活かす会 代表 古川忠光 様	(総務文教委員会) 採 択	(賛成少数) 不採択
請願	高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書の提出について	松江市大正町442-6 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵栄助 様	(福祉環境委員会) 不採択	(賛成少数) 不採択

平成26年3月定例会での 主な議案等の賛否の公開について（本会議）

議案第1号	浜田市行政組織条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第2号	浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第3号	浜田市移動通信用鉄塔施設条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第4号	浜田市防災行政無線施設条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第5号	浜田市生活路線バス条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第6号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について 反対議員 西村 牛尾昭	賛成21 反対2
議案第7号	浜田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第8号	浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第9号	浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第10号	浜田市佐々田文庫整備基金条例の制定について	賛成23 反対0
議案第11号	浜田市社会教育委員条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第12号	浜田市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第13号	浜田市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第14号	浜田市休日応急診療所条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
議案第15号	浜田市工場立地法準則条例の制定について	賛成23 反対0
議案第16号	浜田市消防長及び消防署長の資格に関する条例の制定について	賛成23 反対0
議案第17号	下田中堰補償金運用基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例について	賛成23 反対0
議案第18号	指定管理者の指定について（旭温泉あさひ荘）	賛成23 反対0
議案第19号	財産の減額譲渡について（西村町1031番1の宅地）	賛成23 反対0
議案第20号	市道路線の認定について（美川南76号線）	賛成23 反対0
議案第21号	土地改良事業計画について（農地災害関連区画整備事業（大津地区））	賛成23 反対0
議案第22号 ～議案第31号	平成25年度浜田市一般会計補正予算（第7号）～平成25年度浜田市水道事業会計補正予算（第1号）	賛成23 反対0
議案第32号 ～議案第44号	平成26年度浜田市一般会計予算～平成26年度浜田市工業用水道事業会計予算	賛成23 反対0
議案第45号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について 反対議員 澁谷	賛成22 反対1
議案第46号	浜田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
同意第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛成23 反対0
同意第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛成23 反対0
同意第3号	浜田市副市長（弥栄自治区長）の選任について	賛成23 反対0
発議第1号	浜田市市政に係る重要な議決等に関する条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
発議第2号	浜田市議会委員会条例の一部を改正する条例について	賛成23 反対0
請願第1号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書の提出について 賛成議員 岡野 森谷 小川 笹田 芦谷 西村 江角 反対議員 足立 柳楽 串崎 野藤 上野 飛野 布施 岡本 佐々木 道下 田畑 平石 西田 澁谷 牛尾博美 牛尾昭	賛成7 反対16
請願第2号	高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書の提出について 賛成議員 森谷 小川 笹田 芦谷 西村 江角 反対議員 岡野 足立 柳楽 串崎 野藤 上野 飛野 布施 岡本 佐々木 道下 田畑 平石 西田 澁谷 牛尾博美 牛尾昭	賛成6 反対17

詳細については市議会HPをご覧ください。



会派代表質問

会派の代表が施政方針と教育方針を問う



元気な浜田に 女性の参画が必要だ

創風会
牛尾博美 議員

女性の活用について

質問 元気な浜田に必要な女性の活用を問う。

答弁 政策、方針決定の過程に女性の参画が必要。市役所も女性の能力経験を活かす適材適所の配置を積極的に行う。

子育て支援策について

質問 子育て家庭の経済的負担の軽減について問う。

答弁 医療費助成を小学校から中学生まで拡大し、第3子以降の保育料を軽減する。

ふるさと寄附について

質問 県内初の1億円達成されたが使途と今後について問う。

答弁 全国から浜田市を応援していただけるような事業に取り組んでいく。松阪市・浜田市友好都市

協定について

質問 松阪市のシンボル駅鈴は浜田との縁がある両市の友好協定を問う。

答弁 松阪に両市の歴史や縁を学ぶ松阪市・浜田市友好の会が発足した。協定については検討する。

秋・石見空港の利活用と広域的取組について

質問 東京路線2便化の浜田市の考えを問う。

答弁 神楽や観光を活用した宿泊コースの企画や食を活用し誘客に繋げる。

観光協会の役割について

質問 法人化に向け組織や運営等浜田市の関わりと指導について問う。

答弁 4月から一般法人化を目指す。市から職員派遣し交流人口の増加に

取組んでいく。

農業施策について

質問 中山間地が危機的状況だ。市独自の支援策と広域で取組むプランの方向転換を問う。

答弁 集落での人・農地プランの作成に事務費等を補助。本年度中に全域をカバーする支援体制を組みサポートしていく。

広島プロジェクトチームの設置について

質問 「広島開拓室」を開設する計画だが「広島PRセンター」の連携について問う。

答弁 開拓室では農水産品の販路開拓・浜田港の利活用・企業誘致に取組む。広島PRセンターと密接に連携していく。

浜田市の公民館のあり方めぐす姿について

質問 今後の体制や活動予算、職員の待遇等改善が必要ではないか問う。

答弁 今後、予算・職員体制や処遇を検討する。



公民館まつり

質問 今後の体制や活動予算、職員の待遇等改善が必要ではないか問う。

答弁 今後、予算・職員体制や処遇を検討する。

質問 特養ホーム増設の具体的手法を問う。

答弁 来年度は30床を整備。地域包括ケアシステム構築を進め高齢者が安心して暮らせる体制づくりに取組む。

質問 浜田・江津の介護施設では介護職員の不足で縮小や閉鎖もある。政府に特区申請して外国人就労政策の検討を問う。

答弁 日本語や試験合格のハードルが高い。今後は国の動向を見ながら特区も検討していく。

その他の質問

- 教育の充実
- 転出入の動態調査の状況と新たな目標
- 浜田への観光コースの取組み
- 浜田漁港エリアの活性化
- 浜田港の利活用
- ゴミ減量化資源化
- 障がい福祉政策
- 医療の充実
- 第6期介護保険事業



浜田市の元気づくりは まず求心力を高める！

市民クラブ 芦谷 英夫 議員

質問 元気な浜田づくりに向け、浜田市の求心力を高める、雇用を拡大する関係機関に働きかけることなどを担う専門部所の設置について問う。

答弁 県立大学学部増設に加えて、行政機関、企業などに対して雇用の拡大、経済の活性化などを働きかける地域プロジェクト推進室を設置する。

質問 リハビリテーションカレッジ、看護学校、ビューティーカレッジなど学生確保について問う。

答弁 専門学校の学生確保について、修学資金制度、入学金免除の支援、近隣高校へのPR訪問など専門学校との連携を深め、多くの学生を浜田に呼び込みたい。

質問 国語教育での読書と作文に力を入れる具体



ビューティーカレッジ卒業式

的な考え、職員の司書資格取得について問う。

答弁 読書や作文活動を推進するため、学校図書館支援センターへの職員配置、新たに指導主事2名の配置などにより、司書教諭と学校司書とのつなぎ役を果たしたい。司書資格取得について助成制度の活用を働きかけた。

質問 浜田藩開府400年に向け、中ノ門の活用、案内板設置など事業の具体的な考えを問う。

答弁 浜田藩開府記念事業は26年度基本構想を策定し、城山の石段、散策道など環境整備、石見神楽記念館や浜田歴史館の整備、進入路や駐車場の整備、記念イベントなどを検討したい。



活かしたい浜田城「中ノ門」

質問 高齢者の生活を支え健康づくりや社会参加を進める交通の便の確保について問う。

答弁 高齢者の交通手段確保は、割安乗車券の販売制度を試行的に実施し、交通空白地域の解消策を検討したい。



年々被害を増す イノシシ対策の取組は

公明クラブ 佐々木 豊治 議員

質問 イノシシ被害について、昨秋頃から特にひどくなっている様子を伺っている。高齢化の波とともにイノシシ被害から農地を守れない状況が増すなか、抜本的なイノシシ対策が必要な時期にきているのではないかと問う。

答弁 当市において、イノシシ対策は大きな課題でもあるので、何らかの対策を講じていきたい。

質問 国は夕張市の破たんを機に、新公会計制度への取組を進めている。特に多額のコストが予想される資産の更新問題については手をつけないと大変な事故をまねき、老朽化に対応していくと一気に破たんを招いてしまう。そうならないための選択と集中の手段が「施設等総合管理計画」の策定や「固定資産台帳」の

作成、そして「複式簿記」の導入であるが、特に資産全体の状態を把握するための「固定資産台帳」作成には早急に取組むべきと思うが問う。

答弁 公共施設のハコモノについては台帳として作成中であるが、橋梁・道路などのインフラ資産の台帳作成については全庁的に検討していく。

質問 ゴミの排出が困難な高齢者について、少量のゴミであっても日常的に取りに来てもらえるサービスが民間業者を活用してできないか問う。

答弁 まとまった不用品の回収サービスが始まっているが、日常的な回収には至っていないため、事業者と検討していきたい。

治療について、昨年保険適用が緩和され、胃がん対策が大きく進むことが期待されている。特定健診の血液検査で希望者に無料でピロリ菌検査を行うべきと思うが問う。

答弁 県内にも検査費用を助成している自治体もあるので、研究したい。

その他の質問

- 予算編成
- デマンド交通の取組
- 電話健康相談事業の取組
- 石州和紙を活かす取組
- 公民館機能の充実
- 業務の民間委託の取組



イノシシ被害にあった水田



将来不安と購買力の 萎縮要件取り除く政策を

風 江角敏和 議員

質問 内閣の経済政策が一部の巨大な企業や都市部の景気改善に留まってはならない。地方の企業も潤い、働く人達を始め、市民の可処分所得が増え、消費や生産拡大へ繋がるのが大切である。

しかし、今後、消費税や軽自動車税の増税、給与所得控除の縮小、70歳以上の医療費窓口の段階的引き上げ、一定所得者以上の介護利用保険料の引き上げ、年金給付の連続削減等々、消費拡大による内需拡大を阻害する施策が目白押しである。こうした施策が、浜田市等の地域経済や市民の家計へ及ぼす影響についての認識を問う。

また、少しでも市民の将来不安と購買力の萎縮要件を取り除き、安心感を広げていくという意味

で、「元氣な浜田づくり」の「重点政策」は評価するが、政策決定の経緯や市長の思いを伺う。

答弁 増税後の消費の落ち込み、消費マインドの減退などが予想され、地域経済や家計へ与える影響は少なくないと考える。こうした課題も重要だが、本市の最も大きな課題は、人口減少と、それに伴う産業経済の衰退と捉えている。10、20年後を見据え、人口減少に歯止めをかけるため、3つの「重点政策」を掲げたものである。

その他の質問

○次期の「総合振興計画」の策定

○まちづくり基本条例や関連条例の策定

○施策の前進を計る指標等の明示

○産業振興、企業誘致などによる雇用の場の確保

○子育て支援、教育の充実

○高齢者が安心して暮らせるまちづくり

○交通施策の充実・強化

○各自治区のまちづくり

○米軍機の訓練中止を求める取組

○障がい福祉施策の拡充

○水道料金の改定

○行財政改革

○当初予算と財政運営

○教育方針



三階小学校6年生が本会議を傍聴

2月27日に三階小学校6年生が本会議を傍聴しました。児童の感想文のなかから一部をご紹介します。(原文のまま抜粋)



私は市議会を見学に行き行って発言するときは、手を挙げなきゃいけないということを知りました。それに発言時間が決まっていることも知りました。まるで、小学校の国語をもっと長くもっと難しくしたみたいだと思いました。私は小学校での勉強はこんなところにもつながっていたんだと分かりました。議会の内容は少し難しかったけど、大人になったら分かるのかなと思いました。

私は3月議会を見てすごいと思いました。いつもテレビとかでなんとなく見ているけどあらためて見るときんちょうするなあとと思いました。

私は初めて市議会を傍聴して、議場が思っていたより広かったりとびっくりしたことがたくさんありました。発言してもいい時間が決まっていたのにもおどろきました。できたらまた議会を傍聴してみたいと思います。



ぼくは一回目の柳楽さんが発言し、終わったらすぐ答弁するのはなぜだろうと思って先生に聞いてみたら答弁できるようにしていてビックリしました。もう一つ思ったのは、みんな自分の思いをもっていているんだなと思いました。議席にすわってきもちよかったです。

農産物の「顔」探しと 中山間地域の課題



飛野 弘一議員

答 意見を聞きながら「浜田の顔」を選定する

質問 儲かる農林業の確立を目指すため将来の浜田の顔となる農産物の選定・育成事業において特色ある農産物の「浜田の顔さがし」の手段と時期は。

答弁 健康関連や医薬品の原料等も含めニーズの高い振興農産物について、有識者・専門機関・バイヤー・メーカー・JA・地域の農業者等の意見を聞きながら平成26年度中に選定する。



益々需要が高まっている西条柿

質問 鳥獣被害対策とイノシシの地域資源化で先進地をめざす意気込みは。



柿の収穫（農閑期）学習体験会

質問 耕作放棄地を活用し石州和紙の原材料の安定供給のための「楮生産の仕組みづくり」は。



イノシシ皮を活用した加工研修会

答弁 先進地視察や食肉製品加工等の研究費や捕獲員の養成を支援して行く。

軽自動車税超過税率の廃止を



西村 健議員

答 廃止は困難、県下統一は研究課題

質問 税制改正により、4月から自動車取得税が軽減され、来年の10月以降廃止される一方、27年4月以降取得する車を対象に、軽自動車税が1.25〜1.5倍程度引き上げられようとしている。浜田市が現在、軽自動車税について標準税率の1.2倍の超過税率を採用している理由は何か。

答弁 27年4月1日以降に購入した軽4輪車から新税率が適用され、7500万円の増収となるには10数年かかる。一方、現在6300万円の収入がある自動車取得税交付金が来年度に半減し、28年度には0になる状況にあり困難である。標準税率を採用するのであれば、県下で統一する必要があると考えており、今後の研究課題とさせていただきます。

質問 27年度以降の歳入増は、年間どの程度か。

答弁 7500万円の増収と見込んでいる。

質問 27年度からの税率引き上げに伴い、超過税率を廃止できないか。



店頭に並ぶ軽自動車

市職員の給与減額で 新規採用の拡大を



道下 文男議員

答 国・県や他市の状況を踏まえ検討する

質問 雇用の間口が狭い当市においては、若者にとって市職員の正規雇用は高値の花である。そこでワークシェアリングの視点で、職員給与を減額し、その財源で新規採用の拡大が図れないか問う。

答弁 農地沿いの住宅新築では、し尿及び生活雑排水処理方式や放流先について、土地開発では開発行為の詳細において、いずれも近隣住民とのトラブルが生じないように指導をしている。また、生活道路整備についても施策の周知徹底を図っており、今後とも住民間でのトラブルが発生しないよう、住民の方への丁寧な説明を行いたい。

質問 農地沿いの都市計画区域内での住宅新築や土地開発、あるいは生活道路整備において住民同士のトラブルによる地域での絆の崩壊が見られる

が、その対策について問う。



都市計画地域での開発行為

はまだの魅力を伝える

市民営業マンは必要だ



答 魅力を伝えるのは
全世代で取組ができる

布施 賢司 議員

質問 県大のCO2事業、産業コンテスト、共同研究など、学生の感性を活かした「なんとか浜田を活性化したい」という提案をどう思われたか
問う。

答弁 学生のアイデアは地域活性化につながり、企業の意識改革と産業振興への展開を主張した素晴らしい提案で、市外・県外から来ている大学生だからこそその視点
は、大変参考になる。

質問 若い人たちから意見や提案を聞く「居酒屋トーク」や「元気な女子会」など企画すべきだ。

答弁 そういった機会があれば積極的に出かけて行って、話をしてみたい。

質問 団塊世代のシニアの経験値を活用すべきであるが、その仕組みづくりはどうか考えているのか。

徘徊老人SOSネットワーク

システムの構築



答 認知症の人や家族を
みんなで支える地域作り

小川 稔 議員

答弁 先進地の事例やシニア産業の構築にむけて支援する考えである。

質問 各サークル団体は一種の市の営業マンであるが、何らかのインセンティブは考えられないか。

答弁 どのような形の支援が喜ばれるか検討する。

質問 地域の事をよく知り、経験豊富な団塊世代のシニアの方に、情報と販売のプロ「地域マネキン軍団」を結成・育成し市の営業マンにすべきだ。

答弁 非常に興味深い提案であり、検討していく。



浜田物産展にて

質問 認知症の徘徊は事件・事故に巻き込まれる可能性が高い。「はいかい老人SOSネットワークシステム」構築についての認識および現状と問題点について問う。

答弁 安心して徘徊できるまちづくりは大切な視点。医療と介護の連携等の予防体制が重要である。搜索システムはないが警察、駐在所と一緒に
なって搜索し、防災無線、防災メールも活用している。

質問 合併以降の人員削減のなかで地方公務員の精神疾患が急増している。市職員のメンタルヘルス対策の実施状況、休暇制度、正規、非正規での差異、および安全配慮義務の観点から事務量調整や要員補充について問う。

答弁 職員クリニック等

次世代に引き渡す

自然環境保全は重要だ!



答 企業誘致にあたっては
自然環境に配慮する

岡本 正友 議員

質問 浜田市農業産出額1位は水稲、2位は肉豚であり大事な産業である。しかし観光や住環境の変化から「家畜ふん尿」の臭気が問題となつている。状況及び認識と対応について問う。

答弁 以前よりは苦情は少なくなつている。臭気については、環境面から改善が必要と認識している。保健所等と連携し調査し対応を求めると改善指導を行い、防臭剤や餌の配合などの防臭対策等を図っている。

質問 まだまだ改善の必要があると感じる。産業振興のための企業誘致や観光・定住化などを進める上で、臭気問題は大きな弊害になると考える。また企業や畜産家のふん尿浄化設備投資には限界があり、先進地の日



オレンジカフェ

質問 浜田市バイオマス資源化センターのような「家畜ふん尿」を原料にメタン発酵発電と残渣を堆肥化し循環型農業等の施設整備をするなど、行政がテコ入れして環境への影響を緩和させる支援策が必要であると思うが所見を問う。

答弁 提言について前向きに検討をしたい。また豊かな自然環境を保全するため、企業誘致にあたっては浜田の景観を壊すことのないよう環境に配慮して取組んでいく。



バイオマス資源センター（日田市）

子ども体験交流の受入れに

専門部所と職員を



答 新たな組織と担当を
考える

西田 清久 議員

質問 「浜田を元気にする」ためには、海辺部から中山間地までのあらゆる資源を活用し、人の交流による経済活動が重要と思う。その戦略に子ども農山漁村交流プロジェクトや体験修学旅行を積極的に受け入れることと考えるが、市の推進体制について問う。

答弁 豊かな自然を舞台とした多種多様な体験メニューは、観光コースを企画する上でも大変重要。浜田市観光協会や浜田市ツーリズム協議会はもとより、農家民泊「縁の里民泊友の会」などとも連携して受入れを推進する。

答弁 これから新しい組織の中で、交流人口をさらに増やすため「観光交流課」として推進していく。また、担当もどこかで考えてみたい。

その他の質問

質問 浜田・那賀方式自治区制度は、総務省に認定された全国に例のない特別な制度。浜田市の「お宝」として将来を見据え、発展的活用する考えは。

答弁 10年、20年後を見据え、公聴会など市民の意見もふまえて制度設計を考えてみたい。



子供体験交流学習

水産業の振興は組織の

構築が不可欠では？



答 市・県・JFしまねと
組織を構築していく

笹田 卓 議員

質問 施政方針「水産業の振興」の6つの観点(地元漁船の存続、県外船の誘致、市場などの施設整備、販路拡大や流通の改善、魚を増やすための魚礁の整備、浜田漁港エリアの活性化)の実現は、市単独では無理がある。市長が旗振り役となり、市・県・JFしまねと強力なスクラムが組める組織を構築する必要があると思うが？



水産業振興は強力組織が必要！

答弁 市が旗を振り、実現できるように、組織を構築していく。

構築していく。

質問 市が所有するスポーツ施設の利用料を中学生以下の利用について、減免するつもりはないか？

答弁 平成26年の審議会
で検討する。



浜田市民から東京五輪へ！

質問 30歳、40歳の成人式を開催するつもりはないか？

答弁 市単独開催は難しいが、民間主導の実行委員会形式での開催の協力は、惜しまない。

地区まちづくり推進委員会

設置課題は？



答 効果的な事業が
できるよう支援する

上野 茂 議員

質問 「地区まちづくり推進委員会」の設立は新たな住民自治組織として、地域課題を解決する重要な組織と考える。全市での設置にむけて、今後の考え方を問う。



地域で守る市子桜

答弁 地域の個性や特徴を十分に活かし、効果的な事業ができるよう今後も設置へ支援する。

質問 まちづくり総合交付金が果たした成果と今後の考え方を問う。

答弁 交付金を活用した事業は温度差があり、未

だ10団体は策定予定がない状況で、今後については次期「自治区制度」を検討する中で考えていく

質問 遊休施設を地域振興の視点で有効活用すべきと思うが考えを問う。

答弁 地域の発展に大きな役割を果たしてきた施設であり、活用においては地域住民の要望を最大限尊重する。



旧浜田高校今市分校

力を入れて取組む

「農業振興」の施策は



答 「儲かる農業」の確立
農業意欲の高揚を図る

串崎 利行 議員

質問 政府の農業政策の変更、TPP交渉の推移など不明確で先が見えない状況であり、各農業関係者等が対応に苦慮している。そうした中、今回儲かる農業を目指し施政方針がだが、10年先を見越しての事で即効性は無いと感じる。今年特に力を入れて取組む政策を問う。

答弁 農業マイスター支援事業・鳥獣被害防止モデル集落支援事業・水稻受託組織会社設立支援事業・集落で取組む農地の保全対策・販路開拓の広島プロジェクトチームなど特に支援する。

質問 米の直接支払交付金が、今年から単価7500円に削減される。農家所得に影響があるが、市の考えを問う。

答弁 「日本型直接支払

認知症対策は早期発見・

早期対応が大切！



答 家庭・地域と共に
連携して取組んでいく

柳楽真智子 議員

質問 高齢化が進む中、認知症予防と早期発見に対する市の取組について問う。

答弁 認知症の早期発見と早期治療が重要だと認識している。認知症の人や家族を応援するための「認知症サポーター養成講座」など、いくつかの市民講座を開催して、正しい理解を深める取組を行っている。包括支援センターに情報を寄せていただければ、通常の保健師の訪問活動の中で、状況把握や受診を勧める対応もしている。今後も地域・医療・介護との連携を図り取組んでいく。

質問 教育方針に「いじめは絶対に許さない」とある。全国的にもいじめ問題が話題となりながら、良い方向に向かっていない。学校や地域のポ

赤字じゃないのに何故

水道料金は上がるの？



答 国の通達で簡水・上水の統合が避けられない

牛尾 昭 議員

質問 平成28年度末に計画されている簡易水道の上水道への統合でなぜ料金上がるのかを問う。

答弁 合併時に、浜田と三隅、弥栄・旭・金城の三つの料金があり、5年後をめどに協議をと協定があった。その後、国からの通達で統合しないと、補助金や交付税算入をしないとあり、水1トンのコストは浜田で160円、三隅で260円、その他で620円かかるので値上げせざるを得ない。また、両水道の統合工事に32億円の経費もかかり、簡易水道事業は、赤字で4億6千万円の持ち出しである。

質問 簡易水道の累積債務は50億あるが、地域振興基金を投入して債務を減らし、市全体で痛みを分かち合うべきでは。

答弁 浜田自治区、三隅自治区の市民にとって上水道の赤字で料金値上げではないので、理解しにくいと思う。地域振興基金投入を含め、市民の方の幅広い意見を聞きたい。

質問 先年、美川水源を利用したペットボトル事業者の企業誘致が頓挫したが、水道料金抑制のために全国公募し、企業化してはどうか。

答弁 水は、浜田の貴重な地域資源なので、十分検討し考えたい。



モリアオガエルが消息するもみじ谷公園（弥栄町）



認知症サポーター養成講座



豊富な水量を誇る美川水源

パワハラなど、

自死の対策効果はいかに？



答 年一の自己申告書等で相談でき、対応済み

森谷 公昭 議員

質問 夜間保育園、アンケートの結果は？

答 子供がいる世帯では約3%が希望している。

質問 日報は必要では？

答 効果は充分把握している、日報をつける事務量が増える。今、その段階ではない。

質問 複式簿記の導入を。

答 将来的には、導入すると認識している。

質問 公共建築物に考案者名を入れ、無駄防止を。

答 組織なので難しい。

質問 コンビニで24時間税金の支払を可能に。

答 検討する。

質問 浜田市楽天を作り、個々の業者の後押しを。

答 引き続き調査し、支援策を考える。

質問 万一の原発事故発生時の避難対応は？

答 国が基準を示した後、必要に応じ検討。

後、必要に応じ検討。



夜間保育所があれば安心

地籍調査の現状と方向性は！



答 全国平均以下の進捗状況さらに推進したい

岡野 克俊 議員

質問 国土調査の全国の進捗状況は約50%と聞く。その調査から地籍を

確定し、固定資産税基本台帳の精査及び市民の土地の権利を確定させることは重要。各自治区

の地籍図書の進捗状況を問う。

質問 市全体の地籍調査

の面積割合の進捗率は約39%。浜田自治区約30%、金城自治区約33%、旭自治区100%、

弥栄自治区約24%、三隅自治区約7%である。また、ミニ国調(任意方式

の地籍調査)は、公共工事予定等の地域において

地図訂正の手法が困難な場合に県などが事業費を負担し市が調査を実施するもの。その総面積は1

8平方キロとなっている。

質問 地図混乱地域や不在

地主が多いため立会確認が難しい場合、市民の理解と協力を得るための

方策を問う。

答 土地所有者を対象に説明会を開き、法に

基づく地籍調査は内容メリット、作業等を説明し理解を求めて実施している。また、推進委員に

「赤線、青線」について現地案内をしてもらっている。さらに、不在地主

の増加から事前に戸籍調査を行い、相続人を特定、関係者に地籍調査事業の必要性を伝え、ご協



地籍調査測量

水道料金は値上げする必要があるのか？



答 平成29年度に値上げの予定

足立 豪 議員

質問 平成17年10月1日の市町村合併で現在の浜田市が誕生したが、その

時点で平成28年度に旧浜田市の水道企業会計と旧

町村の簡易水道会計が統合されることは認識されていた。

上水道ビジョンにも記載されているとおり、平成17年の合併時には水道

料金の統一は図らず、合併後5年以内に協議することとしていたが、平成

22年時点で、料金改定等についてどのような方針であったのか問う。

答 平成21年3月に統合計画書を国に提出して承認を得ている。この計画に基づき、7年32億をかけて統合整備事業を行っている。それに併

せ、簡易水道の資産調査を行い、現在水道料金改定の試算作業を行っている。

質問 合併前の各自治区新設時の給水人口の見込みが甘いのではないかと。

答 当初計画と3000人程度の差がでている。

質問 老朽管の更新の進捗状況は？

答 耐用年数を大幅に過ぎた老朽管もある。有収率は県内でも低いのが

正直なところである。



新たな取組への支援策は？



答 利用しやすい環境づくりに努める

平石 誠議員

質問 昨年の秋にグラウンドオープンした「かなぎウエスタンライディングパーク」では、新年度から障がい児を対象とした「放課後等アイサービス」や「ホースセラピー」などの事業に取組む予定とされているが、市としてこういった支援をしているのか伺う。

答 放課後等アイサービスやホースセラピー事業は、これまで、浜田市内では実施されている事業所はなく、発達障がいや疑われて特別な支援を必要とされる児童生徒や、その他障がいのある児童生徒にとって、効果的な事業であると認識している。また、身体的障がいの方や心の健康問題を抱える方など多くの方の利用も考えられ、こういった障がい者福祉サ-

公民館の向かうべき方向性は？



答 地域の課題解決に係わりが重要だ

田畑 敬一議員

質問 まちづくりや地域の課題解決に公民館の役割が重要であるが、公民館の向かうべき方向性を問う。

答 まちづくりや地域の解決に公民館の係わりが重要である。地域の課題解決や、各種団体等がつながる拠点として、活用することが必要と考える。

質問 公民館職員の処遇についての考えを問う。

答 社会教育委員の会から提言は、報酬については今後の業務内容に応じて検討すること。社会教育主事資格者の報酬の増額について検討すること。今後についてはまちづくりを支援を行うための、業務内容や業務量などを見極めた上で、検討する。

質問 過去の質問でまち



体験乗馬をする来場者



三隅公民館まつり

浜田藩開府400年に向けた取組は？



答 浜田の礎は浜田藩から誇りと愛着を持って

野藤 薫議員

質問 しまねお魚センターの活性化について、「萩しーまーと」や「道の駅むなかた」など参考にできないか？

答 北陸や九州の道の駅などの成功事例を見学した。良い点を参考に、しまねお魚センターの活性化を検討したい。

質問 浜田藩開府400年に向けた取組や、御便殿の活用は？

答 幕末、長州との戦いで松平武聡公が自焼退城し、浜田藩は終わりを告げたが、浜田市の土台は元和五年に古田重治公が伊勢松阪から石見国へ転じてからと認識している。開府400年を機に、子供たちには浜田藩の歴史を知り郷土への愛着と誇りを持って頂くと同時に、交流人口の拡大を期待したい。御便殿は浜田を元

過去の質問でまち



浜田城説明板より

気にする視点から石見神楽の資料や舞が観賞できる場所にと考えている。

質問 消費税引上げに対する、市内小規模事業所への支援策は？

答 国、県の小規模事業者への補助金や専門家派遣、金融面の施策など、関係機関と連携して情報提供を進めていく。また市が預託している県の中小企業制度融資について、申込み先の商工会議所や商工会と連携し、利用促進をはかる。

